

H21～H28過去問分析によるH29の予測し難い内容の推定

研究会は、試験元(公益財団法人建築技術教育普及センター)が問題を作成するに当たり、市販書籍を約50%類似するような内容としつつ、更に約50%は予測し難い内容を組込むものと推定している(詳細は、「H28試験課題の作成方法(推定)」を参照)。ただし、H29は、従来車席販売していた、S社が販売中され、N社のみとなったので、この市販書籍の約50%という見識は、多少、本年度異なる可能性がある。ここでは、H21～H28の試験課題について、事前の課題発表からは予測し難い内容を下表の通りまとめた、更に、そこからH29の予測し難い内容を推定する。

この推定し難い内容の約50%という50%の意味は、要求室が50%異なるというものを示しているのではない。建築計画をするうえで、大きく影響するものという趣旨である。例えば、H27は、事前公表の設計課題が「市街地に建つサービス付き高齢者向け集合住宅(基礎免震構造を採用した建築物である。)」となっているものに対して、本試験では、I.設計条件で「…、地域住民も利用できるレストラン等…」とあり、1階は課題と全く関係ない「レストランとギャラリー」のみを計画する課題であった。要求室としては、レストランとギャラリーの2つであるものの、本計画には大きく(50%程度)影響すると判断できる。また、東側には「歩行者専用道路」を設けて「駅から約200m」という地域条件も指定されている。つまり、単純に要求室が50%異なるのではなく、予測し難い内容(駅から200m動線を考慮したレストラン等)を組込むことで、単純な事前に公開した課題内容に留まらず、試験時に設計者として想定し難い内容を瞬時に判断しないとイケない基本能力を見られる課題となっている点である。

H21から新試験制度となり、H28では既に7年目となる。従って、出題傾向もある程度予測できるだけの情報が揃ってきている。特に、大手N社の資格学校は、その分析に多数の方を投入できる背景があるので、市販書籍の内容も、それなりに的を得ている予測課題である。しかし、試験元センターは、必ず予測し難い内容を組込んでくる。研究会としては、**予測課題3**として、日帰り客も利用可とした**大規模浴室や屋外バルコニー設置のラウンジ**等の下表H29の予測し難い内容を推定した。

なお、本内容の決定理由も含め、H29の各項目別に分けて「項目別の予測課題の解説(最重要資料)」で詳細に解説する。また、その中では、エスキスの仕方なども解説する。

H21 貸事務所ビル (1階に展示用の貸スペース、基準階に一般事務用の貸スペースを計画する。)	H22 小都市に建つ美術館
本試験での予測し難い内容 <ol style="list-style-type: none"> ① 敷地が正方形ではない台形 ② 1階に課題と関係のない喫茶店 ③ 機械式駐車場 (機械式駐車場の概略図が課題内にあり) 	本試験での予測し難い内容 <p>共用部門として「…子どもの美術学習・創作活動や地域住民の趣味の活動(以下ワークショップ)」を計画に盛り込み、下記の要求室がその条件となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ミュージアム ② アトリエ ③ 研修室 ④ 屋外創作広場 (100㎡以上、7m以上の円、屋外創作広場はアトリエ・公園・遊歩道との動線配慮) ⑤ 共用部門に課題と関係のないレストラン

H23 介護老人保健施設 (通所リハビリテーションのある地上5階建ての施設である。)	H24 地域図書館 (段床形式の小ホールのある施設である。)
本試験での予測し難い内容 <ol style="list-style-type: none"> ① 病院に併設される施設での出題 (病院との動線配慮) ② 1階に課題と関係のないレクリエーションルーム ③ 厨房が入所者とデイケア通所者の食堂の両方へ供給 	本試験での予測し難い内容 <ol style="list-style-type: none"> ① 地下の設備スペース ② セブエントランスの設置と公園からの動線 ③ 小ホールを除き150㎡以上の吹抜け ④ 共用・管理部門に課題と関係のないカフェ

H25 大学のセミナーハウス

本試験での予測し難い内容

- ① 屋根は、2/10以上の勾配屋根
- ② 無柱空間、高さ5m、心々10m以上のアトリエ
- ③ 食事やパーティ等多目的に利用する80㎡以上の屋外テラス
- ④ エントランスホールへの1階と2階の空間の連続性を考慮した吹抜け

H26 温浴施設のある「道の駅」

本試験での予測し難い内容

- ① 休憩・情報部門は、24時間利用できる計画(破線図示)とし、便所以外に30人利用、授乳室、キッズコーナー、自動販売機コーナー、公衆電話コーナー、情報パネル、案内カウンターを計画
- ② 共用・管理部門に課題と関係のない多目的室
- ③ 共用・管理部門に課題と関係のない防災備蓄倉庫
- ④ 非常用の自家発電設備の設備スペース指定
- ⑤ レストランと一体利用する50㎡以上の屋外テラス

H27 市街地に建つサービス付き高齢者向け集合住宅 (基礎免震構造を採用した建築物である。)

本試験での予測し難い内容

- ① 共用部門に課題と関係のないレストラン(食事をサービス部門へ供給)
- ② 共用部門に課題と関係のないギャラリー
- ③ 計画地は駅から200mの距離
- ④ 東側道路は歩行者専用道路(21時～翌6時まで車両通行可)

H28 子ども・子育て支援センター (保育所、児童館・子育て支援施設)

本試験での予測し難い内容

- ① プレイルーム210㎡以上、高天井6.5m以上、室の辺長比1.5以下、無柱空間
- ② エントランスホールの親子ラウンジ
- ③ 2階に屋外広場を直径10mの円、約200㎡
- ④ 計画の要点等の環境負荷低減に太陽熱、地中熱、井水から2つ選択⇒断面図に環境負荷店芸手法の記載指示があり、作図にもこの内容が影響

H29 小規模なリゾートホテル

本試験での予測し難い内容(推定)

- ① 北側道路、南側歩行者道路の設置、南側歩行者道路への通過動線
- ② 男女各約200㎡の大規模浴室(日帰り客も利用可)
- ③ 屋外テラス(50㎡以上)のあるラウンジ
- ④ エントランスホールに隣接させて地下1階～2階の空間の連続性を考慮した50㎡以上の吹抜け